

神戸三田キャンパスでも開室中!

2018年4月から、神戸三田キャンパスでもヒューマン・サービス支援室を開室しています。まずは週に2回の開室ですが、春学期間中は120名の学生が来室してくれました。

三田キャンパス所属の学生COと協働しながら、ボランティアに関わる様々なイベントも実施します。皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



▲三田キャンパスの学生CO

▲支援室の様子

開室について
 日程：授業期間中の毎週火曜日・木曜日
 時間：10:40~11:30/12:30~16:30
 場所：Ⅱ号館2階210号室



☆三田については、開室日程や場所等変更の可能性があります。詳しくはTwitterを参照してください。

ボランティアWeek



▲昨年度の様子▼

今年度も学生COを中心に、ボランティアWeekの準備を進めています。実施期間については、下記記載のHPやSNSを参照してください。



ヒューマン・サービス支援室では、学内での1大イベントとして「ボランティアWeek」を実施します。

学内に「ボランティア」ののびりをたて、気軽に参加できるボランティアプログラムを実施したり、図書館エントランスでボランティアにまつわる展示を出したりと、関学のボランティアを盛り上げる1週間です。昨年度は『お!Newなわたし。』をキャッチコピーとして、ボランティアに触れることで「意外と身近にできることってあるんだ!」という発見をしてもらえるような企画を実施しました。

2017年度の企画

●今年もあなたがサンタクロース!

みんなが「着なくなった服」を集めて、ウガンダの子どもたちへ給食を届ける!
 実施場所：ヒューマン・サービス支援室
 集まった服の枚数：528枚
 参加者数：57名

●展示「Let's!!みるぼら」

学生コーディネーターおすすめボランティアや日々の活動を紹介。ボランティア情報誌も無料でプレゼント!

●学内ボランティア団体向け相談会

専従コーディネーターが活動中の疑問や悩みについて、相談に乗ります。



▲ボランティアを紹介している様子



▲関学生が所属するボランティア団体がブース出展『ボランティアEXPO』



▲学生ボランティアコーディネーターの研修会の様子



▲支援室が主催する熊本地震現地ボランティア

ボランティアの相談や情報提供など、ボランティアに関することなら何でもご連絡ください!

ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室
 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原1-1-155 上ヶ原キャンパス正門左手 門衛室隣

☎ 0798-54-6061 (内線番号 61-30145, 30146)

✉ kg.hssso.info@kwansei.ac.jp

HP: http://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer



SNSも情報発信中!



【開室時間】平日8:50~16:50 (11:30~12:30は閉室)
 ※夏期、開室時間の変更あり (HPに記載) 土日、祝日、夏季、冬季の休暇期間は終日閉室

アクセス

この看板が目印



ヒューマン・サービス支援室



組織図

●関西学院大学 ボランティア活動支援センター

センター長(=副学長(危機管理担当))、
 センター副長(=支援室長)
 センター委員(=支援室副室長)
 大学宗教主事、学長補佐
 学生活動支援機構長補佐、
 大学事務統轄、学長室大学課長
 学長が必要と認めた者 若干名

【機能】
 支援室の基本方針の策定・評価
 予算についての検討

●ヒューマン・サービス支援室

支援室長(=センター副長)、副室長(=センター委員)、
 ボランティアコーディネーター、
 支援室担当事務職員(事務担当:吉岡記念館事務室)

ボランティアに関する窓口

【機能】
 ボランティア情報の収集、発信
 ボランティア啓発のためのイベント実施
 災害支援活動
 学生ボランティアコーディネーターへの研修実施等

●学生ボランティアコーディネーター(学生CO)

代表部(代表、副代表)、人事部、広報部、渉外部、レクリエーション部

【機能】来室学生へのボランティア紹介、学内外のボランティア団体の情報発信
 ボランティア啓発のためのイベント実施、他大学の学生スタッフとの交流等

任命
統轄

報告
提言

協働

発足経緯、HSCからの年表

1995年	阪神・淡路大震災発生(1月17日) 救援ボランティア委員会発足(1月21日) 関西学院ヒューマンサービスセンター(HSC)発足(4月) 学童保育ボランティア:上ヶ原小学校、上ヶ原南小学校活動開始	2007年	KG災害救援隊STEPを発足
1997年	西宮市内仮設調査プロジェクト開始	2008年	ボランティアEXPO開始 ボランティアツアー開始
1999年	学童保育ボランティアの名称を『ひまわり』と決定	2009年	兵庫県佐用町復興プロジェクト「チーム西宮」発足 阪神・淡路大震災メモリアルイベント
2000年	西宮市内仮設調査プロジェクト終了	2011年	東日本大震災発生(3月14日) 宮城県への支援活動「あいのりバスプロジェクト」開始 「チーム西宮」部門がチャコネット部門へ名称変更
2002年	「学童サークルひまわり」から「学童保育ひまわり」へと名称変更	2013年	「学童サークルひまわり」から「学童保育ひまわり」へと名称変更
2004年	しょうがいを持つ学生へのノートイクボランティアの制度化を社会学部に提言 台風23号・新潟中越地震救済活動	2014年	関西学院阪神・淡路大震災記念礼拝・イベントへ参加 学生自主勉強会「震災から20年～今私たちが考えるべきことは～」を開催
2005年	HSC規約作成	2015年	HSC20年史の発行
2006年	HSC10周年パーティー実施 HSC10年史発行	2016年	関西学院大学ボランティア活動支援センターヒューマン・サービス支援室設立(4月) 現在に至る

「関西学院大学ボランティア活動支援センターヒューマン・サービス支援室」は、その名が示す通り、ボランティア活動を支援する窓口として設置されました。
「関西学院ヒューマンサービスセンター(以下、HSC)」はヒューマン・サービス支援室の前身的存在で、教職員と学生が協力してさまざまなボランティアコーディネートを実践していました。2016年4月に、HSCの実績を引き継ぎ、大学内で組織的位置づけを明確にした形でヒューマン・サービス支援室が設立されました。
HSC時代からのコーディネート活動や災害支援活動を引き継ぎ、より発展させるために学生や教職員が協働してさまざまな活動に取り組んでいます。

※2018年10月時点

ヒューマン・サービス支援室のヒト

センター長: 富田 宏治(副学長) 室長: 関 嘉寛(社会学部)
副室長: 武田 丈(人間福祉学部)、岩坂 二規(教育学部)、照本 清峰(総合政策学部)
専従コーディネーター: 成安 有希、岡 秀和
事務担当: 益田 博(吉岡記念館事務室)、村上 芳秀(吉岡記念館事務室)

室長 関 嘉寛 (社会学部 教授)

支援室が設置されてから2年半経ちました。この間、みなさんのご協力ご支援をえて、関西学院大学内にボランティアを広める活動ができました。おかげで、徐々に学生の認知度も上がってきました。しかし、教職員の方々の間では、まだ認知度が低いのが実情です。
関西学院大学にとってボランティアは、スクールモットーや歴史的経緯からみても、とても大切なものだと思います。学内でボランティアを広げるためには、関係各部署との連携、情報共有が欠かせません。まずは、ニュースレターで支援室からさまざまな情報をお伝えしたいと思います。

専従コーディネーター 成安 有希

ヒューマン・サービス支援室が設立されて3年目。少しずつ学内での認知度が上がり始め、学生の利用も多くなってきました。私自身も本校で4年間ボランティアを通して学んできた1人として、日に日に成長していく学生の姿を見られることにやりがいを感じています。これからもさらに多くの学生を巻き込んでいながら、大学全体のボランティアを盛り上げていきたいと思っています。

専従コーディネーター 岡 秀和

2018年4月から専従コーディネーターをしている岡です。
まだ支援室スタッフに仲間入りしてから間もないですが、ボランティアを通じて学生たちが学び、成長できるように繋がり作りや場作りに取り組んでいきたいと考えています。さらに多くの学生、教職員の方々との出会い、関学や社会に貢献したいと思いますので、ご協力のほど、よろしくお願いします。

災害支援活動

学生たちの「被災地のために、自分たちに何かできることはないか」という多くの想いを受けて、災害支援ボランティア活動を行っています。2016年の発生当初から行っている「熊本地震現地ボランティア」は、2018年9月の活動をもって第10回を迎えることができました。また、2018年8月からは「西日本豪雨ボランティアバス」と題して、岡山県倉敷市真備町での活動も実施しております。教職員の方に参加していただけるプログラムもありますので、ぜひ支援室までお問い合わせください。



熊本県益城町にて、茶話会の様子



熊本県益城町にて、子どもたちと作った「くまモン」アート



岡山県倉敷市真備町にて、民家の床下をはがす作業

学生ボランティアコーディネーター(学生CO)の活動

ヒューマン・サービス支援室のさまざまな活動は、学生コーディネーターと専従コーディネーターなどの教職員との連携によっておこなわれます。学生コーディネーターは、支援室の活動の中心的な部分を担っている大切な存在です。

学生CO代表の森本さんに聞きました!



2018年度 代表
森本 敦史 (文学部3回生)

Q1. 学生COはどのような活動をしていますか?

学生にボランティアの魅力伝えるために、大きく分けて2つの活動をしています。学生から相談を受け、ボランティア情報を紹介するボランティアコーディネーションと、「春ボラ」「ボランティアEXPO」「ボランティアツアー」「ボランティアWeek」といったイベントです。

Q2. なぜ学生COになろうと思いましたか?

先輩方に惹かれたからです。新入生オリエンテーションで堂々とスピーチする先輩方のようになりたいと思い、学生COになりました。

Q3. 代表としてのやりがいを教えてください。

やりがいは、すべての活動に関わり、達成感が得られることです。また、つながりを作る機会が多いので、幅広い視点からものごとを考えられることも大きなやりがいの一つです。

Q4. 森本さんにとってボランティアとはどのようなものですか?

ボランティアはつながりを生み出す手段です。ボランティアを通して地域団体、住民の方々、他のボランティアサークル、他大学の学生など、ボランティアをしていないと出会えない「人」との出会いが私を成長させてくれました。

Q5. 最後にメッセージをお願いします。

学生がよりボランティアに参加でき、ボランティアをより身近に感じてもらえるように、これからも尽力します。学生COは大学教職員のご支援があって初めて有意義な活動ができます。今後とも、ご支援、ご指導のほどよろしく申し上げます。

学生COのイベント紹介 春学期～夏休み

● 新入生オリエンテーションスピーチ (4/3(火)～4/5(木))



新入生にボランティアについてや支援室・学生COの活動を紹介します。関学学生を中心に活動しているボランティア団体の情報を掲載した「春ボラ」も配布。

POINT 大学生活に「ボランティア」という手段があることを知ってもらうきっかけに。

● ボランティアEXPO (4/12(木)～4/13(金))



関学学生が関わる15のボランティア団体がブースを出展。2日間で389名の学生が来場!来場者の多くが「ボランティアへの関心が高まった」と話し、出展団体・来場者ともに充実したイベントに。

POINT 団体・サークルに所属している関学学生から直接話を聞くことで、自分にあったボランティアを見つけることができる。

● 出張ボランティアセンター (5/28(月)～6/1(金))



学生会館旧館ラウンジ前(POCKET MAMA前)に学生COが出張。来場した27名の学生にボランティアを紹介!

POINT 何かしたいけれど、支援室に行く勇気がないという学生にもきっかけを提供するため、オープンなスペースでボランティア紹介を実施。

● ボランティアツアー (8/1(水)～9/1(土))



学生COが参加希望者と一緒に、普段紹介しているボランティア先へ実際に訪問して活動に参加。「車いすバスケット」「子ども食堂」など、7種類のジャンルのボランティアに挑戦。

POINT 学生COと一緒に活動に参加できるので、何かしたいけれど一人では参加しにくい、という学生にオススメのプログラム。

ボランティア参加者の声

森 美月さん(人間福祉学部3回生)

Q. ボランティアをはじめたきっかけは何ですか?

A. 中学校卒業時、人のため、社会のために働ける大人になりたいと目標を持ち、高校生時代に東日本大震災のボランティア活動に取り組んだ経験がきっかけです。

Q. ボランティアの魅力教えてください。

A. ボランティアで誰かのために微力ながらも貢献できるのは、自分にとっても大きな学びや気づきにつながることで、また、様々な形で工夫し取り組めるのも魅力的です。

宇野 紘世さん(商学部1回生)

Q. ボランティアをはじめたきっかけは何ですか?

A. もともとボランティアに興味がありました。大学では、貼り紙やネットなどを通じて今まで以上にボランティアの情報を得ることができ、実際にやってみようという気持ちが強くなりました。

Q. ボランティアの魅力教えてください。

A. 「ありがとう」が行き交うボランティアはとても温かく、人との繋がりは素晴らしいものだと感じさせてくれます。また、普段できないような様々な経験をすることができ、自分自身の成長にも繋がります。